

このままでいいですか？

ひとりの大人として、できることを考えよう。

イマドキの子どもたちと遊び

町の中で子どもたちが群れて元気に遊んでいる姿を見かけることが少ないと思いませんか？
人間関係が希薄になり、電子メディアに振り回され、時間に追われる現代の大人たちの生活が、子どもの過ごす時間や空間に影響し、子どもの育つ環境を阻害しているように思います。
あなたは、志免町の子どもたちがどんな大人に育ってほしいですか？
そのためにいま、子どもの時代に何が必要なのでしょう？

静岡にあるNPO法人 ゆめ・まち・ねっとの 渡部さんご夫婦がされている 取り組みについてお話をうかがい、 みんなで志免町の子どもにとって 必要なことを考える機会を設けました。 「イマドキの子どもたちと遊び」について 一緒に考えませんか？

9/20(土)
10:00~12:00
参加費無料

志免町総合福祉施設
シームイト 2階 会議室1・2

- ◆参加申込み 件名を「講座申込み」として、本文に、①参加者氏名 ②電話番号 ③託児の有無（有の場合はお子さまのお名前、年齢、アレルギーの有無）をお書きいただき、 shimeookinaki@yahoo.co.jp までメールにてお申込みください。こちらからの返信をもって受付完了といたします。 ◆託児 1歳以上 要事前申込み（先着順15名）保険料100円/おひとり ※お子さま連れの講座参加も可能です。
- ◆問合せ TEL 090-9596-8396（やまさき） ◆後援 志免町・志免町教育委員会

申込アドレス



講師：渡部 達也さん、渡部 美樹さん（NPO法人ゆめ・まち・ねっと）

大学卒業後、静岡県庁入庁。児童相談所ケースワーカーや富士山こどもの国の設立・運営などに携わる。まちづくりという夢を追い求め、16年余務めた静岡県庁を2004年夏に中途退職し、NPO法人ゆめ・まち・ねっとを設立。「たっちゃん」、「みっきー」の愛称で親しまれ、夫婦で子どもたちの居場所づくりに取り組む。平日は商店街の空き店舗を活用した「子どものたまり場大人のだべり場おもしろ荘」で放課後の子どもたちに居場所を提供するほか、大人を対象にした「子育て勉強会ワンコインゼミ」なども実施。週末は公園と川で「冒険遊び場たごっこパーク」を開催。活動を通じ出会う生きづらさを抱えた子ども若者と向き合うことも多く、自宅で寝食を共にすることも。日本テレビ「ミヤネ屋」、NHK「おはよう日本」等で特集が放映され、静岡県内のメディアでもたびたび取り上げられる。静岡新聞、日本教育新聞、読売新聞でコラムを連載。2011年「あしたのまち・くらしづくり活動賞」にて、『総務大臣賞』受賞。先ごろ朝日新聞で10年の歩みが12回の連載で紹介され、大きな反響を呼ぶ。



志免子育て支援コミュニティおおきな木 の活動については ホームページから…

ゆめ・まち・ねっとさんのホームページにもリンクしています。

<http://s-ookinaki.org/>

